

Governor's Monthly Letter

Rotary International District 2570



No.7 1st January 2011

1月はロータリー理解推進月間です。

ガバナー
月信

2011年1月1日
第7号

—ロータリアンとして—
ロータリーライフを
楽しむためには

地区研修委員会委員長 栗山 昇

皆様、あけまして
おめでとうございます。

ガバナー 西川 武重郎

1月はロータリー年度後半の始まりです。前半に集中した公式訪問では各クラブの皆様大変お世話になりました。クラブ訪問を通して多くの大切なことを学び、また多くの方と深い絆を結ぶことができました。これは私の大切な財産になります。皆様、本当にありがとうございました。

さて、1月は「ロータリー理解推進月間」です。物事を推進していく力を出すためには、物事をいかに理解しているかにかかっています。私は昨年、ガバナー補佐という役割を担わせて頂きましたが、その時の体験を反省を込めてお話したいと思います。

当時私は、ポリオ撲滅運動は最終局面を迎えているのだから、他の違う活動に目を向ける時が来ているのではないかと考えていました。そんなある日、私は仲間のガバナー補佐の車に乗せてもらいながら、彼とロータリーについていろいろなことを語り合っていました。その時、彼はポリオになった自分の体験を語り始めました。「僕は二歳の時、突然頭をハンマーで殴られたような激痛が走りそのまま気を失い、一週間意識不明だったんだよ。医者から死の宣告を受け、母が息子の顔を最後に見ようと顔にかけてあった布を取ったら、僕は目をパッチリと開けていたらしいんだよ。それから母は自分を背負って峠を越えて隣町の病院までリハビリに通い始めたそんなある日、母は峠の途中で休もうと思い僕を背中からおろしたら、突然歩き始めたらしいんだよ。僕は子供心にも母の大変さをよくわかっていたから、ポリオ撲滅に取り組んでいる財団に対してできるだけことはしたいと思っているんだよ」とハンドルを握りながら淡々と語り始めました。

私はこの話を聞いて、自分の頭をハンマーで殴られたような思いになりました。それ以来、私は財団の活動に協力することはポリオ撲滅や青少年育成に大きく貢献し、それが世界の平和の礎になっているのだ、だから、財団や米山への寄付は誇りと喜びを持って取り組むべきだと考えるようになり、その思いを公式訪問の時に皆様に訴えてきました。

人々にロータリー活動を理解していただき活動を推進していくためには、私たちロータリアンが、ロータリーの活動は青少年育成や世界の平和にとって大切な活動をしているのだということを真に理解し、そのことを多くの人々に伝えていくことが、ロータリー活動の推進につながると思うのですが、皆様はいかがお思いでしょうか。

ロータリーライフを楽しむためには

地区研修委員会委員長 栗山 昇（朝霞）

西川ガバナー年度の方針の一つに、ロータリーを理解するための手法として、研修の必要性と、「研修はクラブから」を実践するために、クラブ研修リーダーの活用を掲げております。地区研修委員会としては、西川ガバナー方針を実践するために、昨年、西川年度が始まる前の5月、6月に次期ガバナー補佐のご理解とご協力により、会長幹事会において各グループ別出前研修を行いました。その目的は、クラブの次期指導者にロータリーを少しでも理解して頂き、活発なるクラブ運営、奉仕活動を期待することでありました。

「クラブ運営について知っておきたいロータリー情報」を共通テーマとして、

- 2010年規定審議会で改正された制定案
- ロータリーの目指す奉仕
- 国際ロータリー定款・細則・標準クラブ定款
- 社会奉仕に関する1923年の声明
- 職業奉仕に関する声明
- ロータリアンの職業宣言
- ロータリーの綱領と四つのテスト
- 国際ロータリーの基本方針
- ロータリー財団
- 米山奨学会
- ガバナー補佐制度の経緯と目的
- クラブでの公式会合
- 例会でのルール

について研修を行い、理解を深めて頂きました。又、2001年・2004年・2007年の規定審議会で改正された制定案につき、「ロータリーいろは問答」と称し、クイズ形式で、楽しみながら理解して頂きました。



ロータリーを理解して頂くための手段として、クラブ研修リーダーを54クラブ全てから選出して頂きました。「クラブ会長要覧」の中に『会長は、クラブの研修計画を立てるために、クラブ研修リーダーを任命し、クラブ研修リーダーは、クラブ理事会と委員会、ガバナー補佐、地区研修委員会、地区ガバナーから、意見や提案を求め支援を得るべきです』と記されております。その目的は、なんと言っても、現会員のために継続的教育の機会を提供することと、ロータリーを理解してもらうためにも、入会間もない新会員のための一貫したオリエンテーションを定期的実施することにあります。

そこで、当委員会としましては、昨年8月7日（土）に東松山「紫雲閣」において、当地区では、初めて「クラブ研修リーダー」のセミナーを実施しました。54全てのクラブ研修リーダーが出席し、5名のガバナー補佐と4名の地区研修委員がディスカッションリーダーになり、「ロータリーを理解するためにクラブ研修をどう取り組んでいったらよいか」をテーマに、テーブルディスカッション形式で行い、テーブルごとに意見発表をして頂きました。ここでいくつかご披露させていただきます。



〈新会員(3～5年未満)に対するクラブ研修について〉

1. 例会において、毎月研修している。
2. 新年度に入り、3か月ぐらい情報委員会を中心に、勉強会と称し、研修している。
3. 新会員全員親睦委員になり、親睦を中心として、ロータリーに先ず馴染んでもらう。
4. ロータリー歴の長い会員に、極力炉辺会合に出席して頂き、研修をしている。
5. 隔月に研修をしている。

〈要望意見〉

1. 地区又はグループ別で研修をすることを要望する。

〈上記以外の会員の研修について〉

1. 「今さら人に聞けない分かり易いロータリー」等を参考資料として、研修に利用している。
2. 「ロータリーの友」をもっと活用することがロータリーを理解する上でもっとも近道で大事ある。

全体的には、クラブでの研修の取り組みについては、消極的であるように感じました。

以上の結果を踏まえ、当委員会では、本年2月～3月に亘り、各グループ別入会3年以内の会員（地区全体で約255名）を対象に、RLI（ロータリーリーダーシップ研究会＝浅田進前研修委員長推奨）を一部採用した方式で、テーマは、

- クラブ奉仕
- 社会・職業奉仕
- 国際奉仕・R財団・米山奨学

について開催予定になっております。

結びとして、ロータリーを理解することなくしてロータリーを語ることはできません。ロータリアンとしてロータリーライフを楽しむためには、相互扶助の精神と自己研鑽なくしてはその快感を得ることはできません。

1月はロータリー理解推進月間です。ロータリーを理解する上での教本は「手続要覧」と「ロータリーの友」であると言っても過言ではないでしょう。年始めの本月間に、是非熟読を切望します。

心と心の合同奉仕活動

心のバリアフリー社会をめざして

アクト委員長 平岡 徳大 (所沢西)

11月3日、志木市細田学園高校においてインターアクト合同奉仕活動が行われました。

来賓に西川ガバナー、野口新世代部門委員長、平岡アクト委員長、インターアクト顧問教師会会長石川先生、並びに志木聴覚障害者の会、志木市社会福祉協議会の方々、又参加校に熊谷女子高校始め、5校約100名の参加を頂きました。

映画「ゆずり葉」を観賞の後、「障害者を理解し相手を気遣うこと」、「障害者に対し自分達は何をして差し上げることができるか」など、各班に分かれ意見交換を行いました。

意見交換会全体として考えた場合、特にろうあ者に対しては外見からは障害者ということが分かりにくく、「手話の重要性」ということが取り上げられました。また、障害をもったボランティアの方を招いて障



害者の立場からみた社会のあり方を話してもらうこと、この2点が特に重要であると感じました。

当番校の神沢校長先生、及び林雄一先生に心から謝意を表する次第です。ご参加の皆様、ありがとうございました。



「恕の精神」と「ボランティア」を学び、 利他のところで行動しよう

月信担当副幹事 内山 純夫 (志木)

近隣都市の数クラブが一堂に会して情報交換を行い親交を深めることを目的として毎年開催されるIM (インターシティミーティング都市連合会)は、第一グループが11月20日、坂戸グランドホテルで行われました。(インターネットによるオピニオンペーパー「クオリティ埼玉」に掲載記事あります。)

一方第2グループIMは、11月14日(日)新座市のベルセゾンで開催されました。

第1グループは、川越、東松山、小川、越生毛呂、川越小江戸、川越西、鶴ヶ島、川越中央、坂戸さつき、東松山むさしの11クラブ、336会員で構成されています。講演では作家の童門冬二氏を講師にお招きして「渋沢栄一から学ぶ」をテーマに、恕の精神“常に相手の立場にたって考える”やさしさ、思いやりの心など、西川ガバナー年度テーマ「一幸せな未来を創るために一利他のところで行動しよう」に一脈通じる内容を改めて学びました。

第2グループは、朝霞、ふじみ野、志木、富士見、新座、和光、朝霞キャロット、志木柳瀬川、新座こぶしの9クラブ、231会員で構成されています。講演では新座市長の須田健治氏を講師にお招きして「わが町のボランティア」をテーマに基調講演を頂戴しました。新座市は県内

↓ 須田新座市長 (第2グループ IM)



↑ 童門冬二氏 (第1グループ IM)

で最大のボランティア活動団体数を誇っています。行政サービスを受ける市民に代わってサービスを提供する市民になることの大切さを学びました。

自己の権利ばかり主張する昨今の風潮ですが、第1グループも第2グループも「利他の心」の大切さを改めて確認しあうことで、親交を深めあいました。



奨学生の交流を深めよう

米山奨学部門委員長 **大澤 衛** (和光)

11月7日(日)13時30分より東松山市「紫雲閣」において、西川ガバナー、高橋福八PG(本庄)、金子千侍米山奨学会副理事長(秩父)を迎え、各クラブカウンセラー、奨学生、地区役員65名にて西村優香子学友副委員長(坂戸さつき)の司会により「第2回米山奨学部門セミナー」が開催されました。

鍛治田推進委員長の趣旨説明・役員紹介に続き、西川ガバナーの点鐘・ご挨拶、高橋担当諮問委員長のご挨拶、また金子副理事長より「カウンセラー制度」に関するお話を頂きました。部門委員長より、活動報告・寄付金状況等の報告があり、第2800地区大会における、中国籍学友の卓話内容についての紹介を致しました。

分科会発表

カウンセラー部門

米山推進委員長 **鍛治田 宙一** (坂戸)

大澤部門委員長から「地区目標額3,500万円達成のためには、一人あたり19,500円位を目標としております。各クラブ共に寄付金の依頼方法は違っております。大口寄付(10万円より)も大変ありがたく存じますが、5,000円から寄付控除の対象となりますので、多勢の会員さんからご協力を賜りたい」との要請があり、カウンセラーの皆様方との質疑応答に入りました。

まず、「米山卒業後“学友”と連絡がとれない」というご意見が65%あり、消息を調べる場合は、米山奨学会事務所に問合せをして頂きたい旨の回答がありました。その他に、「学友が物品販売のためにクラブ例会に訪問したがいかがなものか」、「奨学生の母国(ベトナム)訪問を検討中」などを承り、概ね奨学生の優秀さと素直さに、良い印象を抱いている意見が多く聞かれました。最後に、『地区大会だけでなく、ホームカミング制度(2008年度より実施)の利用をご検討ください』と、締め括りました。



奨学生部門

米山学友委員 **加藤 睦夫** (熊谷西)

1. 奨学生同士の交流が欲しい
機会が少ない→4、5月くらいの早い段階での親交を深める交流が欲しい。
ライラなど、他のロータリーの学生とも交流したい(実際1人交流してよかった)。
クラブの方々とも、もう少し交流したい。他クラブへも行きたい。
2. 米山の奨学生になって、孤独と労働から解放され大変感謝している。母国に帰ってこの感謝を平和交流につなげたい。
3. 一年中卓話があると良い。
米山月間だけでなく卓話ができると良いと思う。
4. 2年継続は2年目のイベントが1年目と同じなので、気のゆるみがあり欠席がち。
もう少し新鮮な企画が欲しい。



最後は、金子副理事長より講評を賜り、西川ガバナーから11月21日開催の「ライラダー」へ参加のご要望を頂き、4時30分点鐘。

様々なご意見を頂き、ありがとうございました。今年度後期、また、次年度に向けて、委員会一同精進してまいりますので、より一層のご協力・ご支援をお願い致します。

●深谷ノース RC、10 周年記念式典

今から10年前の高橋福八ガバナー年度に、スポンサークラブ深谷 RC、特別代表に福島良治パストガバナーのお世話で、当クラブは36名でスタートいたしました。「国際交流」をクラブのメインテーマとして、初代会長 新 精一、幹事 新島修一のコンビで、初年度にオーストラリア、次年度にフィリピン、次々年度にタイのロータリークラブと合計4クラブと姉妹提携を結んでまいりました。初めの5年間はメンバーの相互訪問を、ホームステイを基本として一年に一度、訪問または受入れを繰り返して交流を重ねてまいりました。ロータリーはだてに国際の名が付いている訳ではありません。海外に行けばどの国にもロータリーがあります。求めれば親戚づきあいできる友ができます。当クラブは国際ロータリーの本当の素晴らしさを実感しております。現在は姉妹クラブを通じて、タイの小学校のろ過装置のマッチング・グラントと、フィリピンの大学生の奨学金制度を共同で実施しております。

新島 修一



●スリーデーマーチに参加して

毎年恒例の東松山で行われた11月5日～7日の3デーマーチに、青少年交換として参加してまいりました。当日は天候にも恵まれ、意気揚々と歩き出した私たち。しかし長距離を歩き慣れていないためか、5キロ辺りから雰囲気は急変します。段々と重くなる足腰に悲鳴をあげていましたが、野口新世代部門委員長が用意して下さったおいしい焼き鳥で回復。残りの道のりを、日本の四季を感じながら楽しく歩くことができました。会場の準備等をして下さいました東松山ロータリークラブの皆様へ心からの御礼を申し上げます。 ROTEX 会長 原田 友莉子



海外から学びたいもの、日本に残したいもの

ライラ委員長 **島田 敏郎** (富士見)

11月21日に紫雲閣（東松山）にて、国際ロータリー第2570地区の2010～2011年度第5回ライラデーを開催しました。

当日は、西川ガバナー、真下研修リーダー、梅沢新世代部門アドバイザーをはじめ、約100名のロータリアンの皆さんと中学生から大学生までの約90名の学生の皆さんにご参加を頂き、盛大に開催をすることができました。特に原田会長をはじめとするROTEXの皆さんには、打ち合わせ等事前準備から当日の講演、進行の手伝いまで積極的にご協力を頂き、ありがとうございました。また東松山RC、富士見RCの皆さんには移動例会にして多数の方にご参加を頂き大会を盛り上げて頂きました。

西川ガバナーの点鐘の後、ご来賓にご挨拶を頂きその後ROTEXによる講演会を行いました。

今回の講演は、「“Japan from Global Views” 国際的視野から見た日本」というテーマで、題目は、

1. 極東のジャパン

世界の中の日本、ハイテクな日本、Made in Japanの信頼

2. 教育制度

トイレ事情、授業形態の違い、ドラッグの蔓延

3. 愛国心

親への感謝、ふるさと心、海外の良いところという内容で、高校生という多感な時期に海外へ渡り、一年間一人異国で過ごした経験を持つROTEXの方たちから「海外から見た日本」、「客観的に見つめた日本」、「世界の中の日本」についてお話を頂きました。

講師のROTEXは、北米、南米、欧州、アジアに派遣された方と、アメリカ、ブラジル、ベルギーからの来日学生です。地域によって考え方が異なり、多角的に日本を捉えたお話でした。

講師の方々のお話に共通した点は、海外生活をした者しか得ることができない貴重な体験への賞賛、日本への多角的な理解であると思います。さらには、海外



生活をするることにより“自分が生まれた郷土を愛する心”がより強くなったことだと思いました。また、講演を聞いている学生も講師と同世代であり、大変興味深く理解しやすい内容であったと思います。

講演終了後、昼食をとり休憩時間にミニコンサートを行いました。ピアノ演奏とオペラをアンコールを含め9曲披露して頂きました。

午後は、学生たちが5グループに分かれ、午前中の講演を参考にしながら「海外から学びたいもの、日本に残したいもの」というテーマでディスカッションを行い、最後に各グループごとに代表者が発表を行いました。ディスカッションの時間を2時間取りましたが、時間が足りないくらい盛り上がっているグループもありました。

今回の講演のテーマ、ディスカッションのテーマの選択は、ライラ委員会で何度も会議を重ね決定しましたが、ディスカッションの様子やグループ発表を聞かせて頂いて、このテーマが参加した学生たちの新しい心の糧となり、自己研鑽に少しでもお役に立てたのではと自負しております。

ロータリー青少年指導者養成プログラム、RYLAは、地元地域の若き有望なリーダーを指導する機会であり、参加する若者たちにロータリーの理想と価値観を紹介する機会です。

今後も当地区でこのような活動を継続して行うために、皆様のご支援とご協力をお願いするとともに、ご参加を頂いた皆さんに感謝を申し上げます。

最後に野口新世代部門委員長、ライラ委員会の皆さんご協力ありがとうございました。

狭山中央 ロータリークラブ

会長 沼崎 正徳
幹事 若松 泰誼

11月2日 西川ガバナー は磯田ガバナー 補佐と共に訪問されました。入会3年未満の会員との懇談会では、ロータリークラブの社会における重要性についてお話を頂き、会員からは入会の動機、入会後の感想などを述べ、ガバナーからはクラブの将来を担うべく積極的に会の運営に参加するよう希望がありました。

行田 ロータリークラブ

会長 蔭山 好信
幹事 稲垣 功一

10月7日(木)、公式訪問例会の途中、不慮の出来事により中断し、18日(木)再度の公式訪問となりました。

食事の後、待ちに待った西川ガバナーの卓話です。

国際会議に参加して、本年度RIのテーマ『地域を育み、大陸をつなぐ』を細かくご説明いただきました。『人のために役に立ちたい。そのために奉仕する』とい



例会でのガバナーの卓話では、ご自身が幼少の頃父上を亡くし、非常なご苦勞をされた経験から「利他の心で行動しよう」と言う本年の目標に至るお話を伺いました。フォーラムでは全委員長から本年度の活動計画や実施経過について説明し、

ガバナーからそれぞれの講評を頂きました。同補佐からは他クラブの例も含めて評価をして頂きました。私達からは身の丈に合った会の運営と「近隣の仲間と手をつなぐ」活動により会員増強に努めるとの思いを述べ、ご両名をお見送り致しました。



うロータリーの心が大切であり、人としての本当の豊かさ、本当の幸せを掴むためには、ロータリーの心である人のために役に立ちたいと思う『利他の心』で生きていくこと、地区のテーマが『利他の心で行動しよう』と決めたこと等のお話は、急がしにかまけ、私たちの失いかけた心を

もう一度取り戻すよい機会となりました。

西川ガバナーより、「行田ロータリークラブは歴史も古く、奉仕活動も活発におこなわれていて、他のクラブには無い委員会がありますので頑張ってください」との激励を頂きました。

今後も頑張っていきたいと思います。

川本 ロータリークラブ

会長 野邊 利正
幹事 田中 勝吾

11月9日(火)、西川ガバナー、第4グループ高柳補佐をお迎えし、1時間余りの歓談で公式訪問が始まりました。

例会中のガバナーの卓話では「利他の心で行動しよう」というテーマに至った経緯や、ご自身の若い頃の体験談、そして昔の近江商人の心意気の例とロータリーの奉仕の心に相通ずることが多くあると



いう貴重なお話をいただき、ガバナーの暖かい人柄に接しさせて頂きました。

クラブ協議会では各部門の発表に続き、川本クラブの特徴である女性の会の活動報告を女性の会の鈴木会長が発表し、西川ガバナーの総評では部門のみならず、

女性の会の活動と本会への協力に対して高い評価と感謝の言葉を頂きました。

協議会終了後、女性の会の皆さんによる手造り料理を囲んでの懇親会を行いました、和やかなうちに貴重な時を過ごさせて頂きました。ありがとうございました。

熊谷 龍原 ロータリークラブ

会長 大川 敏夫
幹事 秋濱 博己

11月10日(水)、西川ガバナー、澤田ガバナー補佐をお迎えしました。例会に先立ち、午前11時より西川ガバナー、澤田ガバナー補佐、会長、幹事、会長エレクト、副幹事、入会3年未満の会員が参加して懇談会が行われ、若いパワーと接して頂き、楽しく意見交換がなされました。昼食後の卓話では、人生はマラソン

所沢 東 ロータリークラブ

会長 齊藤 栄二
幹事 肥沼 一彦

11月11日(木)西川ガバナー、磯田ガバナー補佐、高橋地区副幹事を迎えて、ガバナー公式訪問が開催されました。

11時から新入会員3名、会長、幹事、会長エレクトと共に懇談会を行い、ガバナーよりロータリアンとしての有意義な話を頂きました。

例会時間では、西川ガバナーの卓話を頂き、RI会長の「地域を育み、大陸をつ

人間 南 ロータリークラブ

会長 澤田 廣造
幹事 大河内 隆敏

11月16日(火)、予定より20分ほど早く西川ガバナーが会場にご到着。12時半開会点鐘。隣の例会場にスタンディングオベーションでガバナーをお迎えしました。

卓話では、より良い社会を作るため、地域社会で人のために汗を流す。それがロータリアンの使命である。さあ、「利他の心で行動しよう」と優しい口調ながら力



に例えられるが、それぞれがスタートも長さも違う親から子へ、子から孫へ、襷をつないでいく駅伝ランナーではないか。相手の気持ちを感じてこそ相手も理解してくれる等、ご自身の体験談を交えて貴重なお話を拝聴できました。

クラブ協議会では、若手の委員長への起用、年齢層バランス、クラブのまとめ、出席率の高さなどに高く評価を頂きました。ガバナー 公式訪問にあたり、小林彰会員より一句披露されました。

秋の日にガバナー来たり利他心



なく」、西川ガバナーの「利他の心で行動しよう」、テーマ「人のこころ」を中心に、今までの貴重な人生経験のお話をされました。

クラブ協議会では、各委員会の事業計画発表を行いました。我がクラブでは独自に長年にわたり市内のイベントに参

加して綿菓子販売をしており、その売上で高い奉仕活動が続けていることにガバナーから大きな評価を頂きました。

今年度会長テーマ「ロータリーこころの遺伝子継承」をモットーにして、特に下期においては会員増強とR財団に力をいれて頑張りたいと存じます。



強く説いてくださいました。コーヒープレイクの後開催されたクラブ協議会では、4大奉仕委員長及び各小委員長の発表に対し、それぞれ高い評価を頂戴し、最後の総評では、老・壮・青のバランスが整った素晴らしいクラブだとお褒めの言

葉を頂きました。我がクラブは今年度創立20周年を迎え、「自らの心を見つめ直して」をクラブテーマに掲げ、ロータリーライフを充実させようと活動しておりますが、今回の公式訪問において、理念をより明確にすることができました。

●第一回 PETS 報告

11月19日(金)、川越氷川会館にて、第一回PETS(会長エレクト研修セミナー)が開催され、地区内すべてのクラブの会長エレクトの皆様が集合されました。立原ガバナー・エレクトの発案で、来年度の地区運営方針をいち早く会長エレクトの皆様にお知らせするために、この時期に第一回目を開催する運びとなり、第2770地区パストガバナー岩淵 均様の記念講演を始めとして、熱のこもった会議が展開されました。次回は国際協議会終了後の2011年2月25日(金)に、RIの方針を主な議題として開催される予定です。ご期待ください。



2013～2014年度 ガバナー・ノミニー候補者の 推薦について

国際ロータリー細則第13条(ガバナーの指名と選挙)の13.010(ガバナー・ノミニーの選出)は、「地区はノミニーをガバナーとして就任する日の直前24カ月以上、36カ月以内に選出するものとする」と規定しています。このため、国際ロータリー第2570地区は、当地区に所属するクラブに対して、地区ガバナー事務所に、2013～2014年度ガバナー候補者案を3月15日までに提出するよう要請します。

なお、クラブより推薦される2013～2014年度ガバナー候補者は国際ロータリー細則15.070(ガバナー・ノミニーの資格条件)より15.080(ガバナーの資格条件)の各項の要件を備えた会員でなければなりません。

また、地区ガバナー指名委員会が地区ガバナー・ノミニーの選択を行うに当たっては、その選択の範囲は、同細則13.020.5(委員会による最適任のロータリアンの指名)で規定される通り、地区内クラブによって提案された候補者に限定されるものではありません。予めご了承願います。

新入会員の ご紹介

(羽生RC)



今井 正
有限会社 今井石材
(紹介者) 安野 正樹

(坂戸RC)



戸口 喜之
(株)花やさんTフロリスト
(紹介者) 木藤 文雄

(所沢中央RC)



吉井 賢一
総合警備保障(株)埼玉西支社
(紹介者) 日高 幸二

訃 報



新井 佐五郎様
(深谷東RC)

2010年11月6日、ご逝去されました。謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。

享年60歳
ロータリー歴
2001年11月入会(在籍9年)



斉藤 行雄様
(鶴ヶ島RC)

2010年11月22日、ご逝去されました。謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。

享年71歳
ロータリー歴
1981年5月入会(在籍29年)



表彰

メジャードナー

西川武重郎 (志木RC)



吉田 恒 (岡部RC)



浜島 英仁 (羽生RC)



井上 豊 (秩父RC)



マルチプル・
ポール・ハリス・
フェロー

ポール・ハリス・
フェロー

片桐 靖子 (志木柳瀬川RC)



高橋健一郎 (志木RC)



鳥居由美子 (所沢RC)



磯田 力彦 (新所沢RC)



長沢 友雄 (新所沢RC)



鹿島 敏男 (新所沢RC)



田沼 幸治 (羽生RC)



戸谷 全克 (本庄南RC)



武田 哲 (深谷東RC)



橋本 正彦 (朝霞RC)



新井 重雄 (所沢RC)



武藤 力夫 (所沢RC)



黒澤 徳樹 (皆野・長瀬RC)



米山功労者

1 回 前嶋 修身 (熊谷RC)



1 回 石井 彰 (和光RC)



2 回 小林 民生 (新所沢RC)



5 回 野々下省三 (和光RC)



7 回 林 政芳 (和光RC)



9 回 幸島 五一 (秩父RC)



11 回 鈴木 勲二 (和光RC)



14 回 小林 熊二 (熊谷RC)



準米山功労法人

長沼設備工業株式会社
(本庄南RC)

出席率・会員数報告

クラブ名	例 会 数	出席率 (%)		会員数 (人)										女 性 会 員
		当 月	通 算	年 初 (7/1)	11 月 末 現在	11 月 入 会 数	11 月 退 会 者	本 年 度 入 会 数	本 年 度 退 会 者	11 月 度 純 増 減	本 年 度 純 増 減	本 年 度 純 増 減	本 年 度 純 増 減	
川越	4	84.8	83.5	85	84	0	0	1	2	0	-1	0	0	
東松山	6	65.8	72.9	34	35	0	0	1	0	0	1	1	1	
小川	4	72.5	74.5	11	11	0	0	0	0	0	0	0	1	
坂戸	4	95.0	90.9	24	25	1	0	2	1	1	1	1	0	
越生毛呂	4	87.5	79.6	27	27	0	0	0	0	0	0	0	1	
川越小江戸	4	87.4	92.8	17	17	0	0	0	0	0	0	0	0	
川越西	3	72.6	74.6	17	16	0	2	1	2	-2	-1	1	1	
鶴ヶ島	3	70.0	76.0	30	29	0	1	0	1	-1	-1	3	3	
川越中央	4	81.5	80.9	31	33	0	0	2	0	0	2	0	0	
坂戸さつき	4	65.5	71.5	21	22	0	0	2	1	0	1	5	5	
東松山むさし	4	87.5	85.1	34	35	0	0	1	0	0	1	3	3	
小計		79.1	80.2	331	334	1	3	10	7	-2	3	15	15	

朝霞	4	100	100	35	35	0	0	0	0	0	0	0	0	
ふじみ野	3	91.1	86.1	16	16	0	0	0	0	0	0	0	0	
志本	3	96.6	94.7	50	50	0	0	0	0	0	0	0	0	
富士見	4	89.7	86.0	45	42	0	0	0	3	0	-3	0	0	
新座	4	90.2	87.2	27	29	0	0	2	0	0	2	3	3	
和光	4	97.4	91.6	19	16	0	4	1	4	-4	-3	-3	-3	
朝霞キャロット	5	90.0	90.9	11	12	0	0	1	0	0	1	0	0	
志木柳瀬川	4	93.2	92.4	12	11	0	0	0	1	0	-1	-1	-1	
新座こぶし	3	93.8	95.5	15	16	0	0	1	0	0	1	3	3	
小計		93.6	91.6	230	227	0	4	5	8	-4	-3	7	7	

入間	4	82.4	83.3	45	45	0	1	1	1	-1	0	1	1	
所沢	4	85.2	82.4	60	59	0	0	0	1	0	-1	4	4	
飯能	3	92.1	91.9	58	57	0	0	0	1	0	-1	0	0	
狭山	4	100	100	22	22	0	0	0	0	0	0	1	1	
新所沢	4	81.7	83.1	28	28	0	0	0	0	0	0	1	1	
日高	4	95.7	83.9	23	28	0	0	5	0	0	5	4	4	
所沢西	4	87.8	92.7	43	44	0	0	1	0	0	1	1	1	
新狭山	5	91.5	91.1	26	26	0	0	0	0	0	0	0	0	
所沢東	4	86.2	86.8	38	39	0	0	1	0	0	1	3	3	
入間南	4	96.2	89.7	35	35	0	0	0	0	0	0	0	0	
所沢中央	4	88.8	89.0	37	36	0	1	0	1	-1	-1	0	0	
狭山中央	4	79.4	81.3	32	32			0	0	0	0	5	5	
小計		88.9	87.9	447	451	0	2	8	4	-2	4	20	20	

深谷	4	76.6	72.3	58	58	0	0	0	0	0	0	8	8	
本庄	4	74.4	84.1	67	67	0	0	0	0	0	0	7	7	
秩父	4	75.5	76.7	52	52	0	0	0	0	0	0	0	0	
寄居	3	81.5	84.8	35	36	0	0	1	0	0	1	1	1	
児玉	3	83.3	75.4	12	12	0	0	0	0	0	0	0	0	
岡部	3	78.0	84.1	18	18	0	0	0	0	0	0	2	2	
深谷東	3	71.7	69.9	64	70	0	1	7	1	-1	6	0	0	
上里	3	83.3	87.5	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	
川本	4	96.0	92.6	12	12	0	0	0	0	0	0	0	0	
皆野・長瀬	4	84.7	86.4	17	18	0	0	1	0	0	1	3	3	
本庄南	5	79.0	85.6	20	20	0	0	0	0	0	0	0	0	
深谷ノース	4	73.6	74.4	36	36	0	0	0	0	0	0	0	0	
小計		79.8	81.2	399	407	0	1	9	1	-1	8	21	21	

熊谷	4	76.2	79.5	89	91	0	0	4	2	0	2	3	3	
行田	4	80.5	80.2	54	56	0	0	4	2	0	2	2	2	
羽生	4	77.6	76.8	36	38	0	0	2	0	0	2	2	2	
加須	3	85.6	82.4	37	38	0	0	1	0	0	1	1	1	
熊谷西	4	85.4	85.0	21	21	0	0	0	0	0	0	1	1	
行田さくら	4	77.2	78.4	39	40	0	0	1	0	0	1	0	0	
熊谷東	3	94.0	93.0	33	33	0	0	0	0	0	0	2	2	
吹上	4	91.6	92.5	12	12	0	0	0	0	0	0	0	0	
熊谷龍原	3	97.5	89.1	27	27	0	0	0	0	0	0	0	0	
熊谷南	3	69.1	73.3	28	28	0	0	0	0	0	0	1	1	
小計		83.5	83.0	376	384	0	0	12	4	0	8	12	12	

54 RC	クラブ会員数	84.7	84.6	1783	1803	1	10	44	54	-9	20			
	女性会員数			77	75	0	4	3	5	-4	-2			

1・2月のスケジュール

1月

- 6 木 ガバナー事務所仕事始め
- 9 日 青少年交換ウインターセミナー
- 10 月
- 15 土 米山奨学生面接試験
ブライダル相談会
- 16 日 国際協議会 (サンディエゴ)
- 22 土 第2回社会奉仕部門セミナー
- 29 土 第2回クラブ奉仕部門セミナー
全国ライラ研究会

2月

- 5 土 第2回R財団部門セミナー
第4回諮問委員会
- 11 金 全国ロータークエスト研修会
- 12 土
- 19 土 第4 G・I M
3回財団オリエンテーション
- 20 日 ブライダル「パーティー」
- 25 金 次年度 PETS
- 26 土 第5 G・I M
- 27 日 米山奨学生終了式

On to New Orleans

ニューオーリンズ国際大会に是非ご参加ください!

本年度の国際ロータリー年次大会は5月21日～25日です。南部情緒あふれるジャズ発祥の地・アメリカの過去と現代が入り交わった街・旅行者が楽しめる街です。21日の晩には、西川ガバナー・立原エレクトと共に2570地区ナイトを用意しました。日々事業のご活躍にてお忙しいこととは存知ますが、是非のご参加をお待ちしております。

旅行プラン・パンフレット・申込用紙はガバナー事務所に用意してございます。旅行プランについて別途ご要望などありましたら、JTB、川越支店営業課、丸山正さん(電話:(049)246-5813)にお尋ねください。

ぜひご参加ください

楽しい分かち合いの
ときを再び...

■ お詫びと訂正 (月信 12月号に誤りがありました。大変失礼致しました。)

- 12ページ米山功労者の醍醐治江様(志木柳瀬川RC)の表彰回数が1回となっておりましたが、2回です。謹んでお詫び申し上げます。

鎌倉街道が繋ぐ2570地区の「和」

第7回 嵐山

笛吹峠から北に將軍澤の山間の道を下り、都幾川^{ときがわ}へと向かいます。その途中途中には、平安から鎌倉にかけての様々な史跡が散在しています。私たちがよく利用する「国立女性教育会館」の脇を通りますが、ここには鎌倉武将「畠山 重忠」の居城がありました。ここから小川町に至る道筋は定かではありません。この地域にはクラブがありません。鳩山、嵐山口ロータリークラブが設立されることを期待します。

笛吹峠から將軍澤を下る車道の西側に掘割状遺構が残されています②。街中の遺構とは違いその形状は残されていますが、人の通らない道は荒れ果て藪のようになっています①。道路脇の庚申塔が往時を忍ばせてくれます③。

將軍澤を下りきったあたりに日吉神社があり、その境内に「將軍神社」④があります。ここは、征夷大將軍、坂上田村麻呂を祀ったものと言われています。鎌倉幕府成立の約400年前に、蝦夷地の征伐に遠征した將軍がこの地で一夜を過ごしたそうです。鎌倉街道の前身は、平安時代に現在の東北地方に遠征する際に使った道でもあったわけです。

更に北上すると、大蔵神社があります。ここには、源義賢の居城があったと言われ、県道172号を挟んだはす向かいには、彼の墓⑤と伝えられている県内最古の五輪塔が祀ってあります。

都幾川と槻川が合流する北側に、菅谷館跡が整備されています。ここは畠山重忠の居城であったとされているところです。壇ノ浦の戦いで勝利で鎌倉幕府が成立しますが、その後の動乱の中で重忠は頼朝の信を得て大活躍します。彼は鎌倉街道を使って、この居城と鎌倉を何度往復したことでしょうか。

この約40万坪あるといわれる菅谷館跡の中に「埼玉県立嵐山史跡の博物館」があり、この近辺の歴史を知ることができます。

この菅谷館跡地北側から、小川町中爪に至る鎌倉街道の道筋は残念ながら明確ではありません。ただ、往時は大伽藍を構えていたという平澤寺、或いは重忠の曾祖父が経筒を収めた白山神社などがあり、この地は鎌倉武士団や民衆が賑わっていたことが想像されます。



源 義賢(みなもと の よしかた)
平安時代末期の武将。源 義仲(木曾義仲)の父。
畠山 重忠(はたけやま しげただ)
平安時代末期から鎌倉時代初期の武将。17歳のころは平家に与^よっていたが、後に頼朝側に付き、やがては義経と共に木曾義仲を討つこととなる。

ガバナー月信 第7号

2011年1月1日発行

今月の表紙：地区研修委員会委員長
栗山 昇(朝霞)

国際ロータリー第2570地区 2010-2011年度ガバナー 西川 武重郎

ガバナー事務所

〒353-0004 埼玉県志木市本町5丁目20番12号 サンシャイン志木1F

TEL (048) 485-3883

E-mail=info2010@mail.rid2570.gr.jp

FAX (048) 485-3855

Website=http://www.rid2570.gr.jp/2010/